

暮らし
物価対策

物価高騰から 県民の暮らし守れ

松江や大田、雲南など各地で水道料金が引き上げられました。水道は日々の生活に欠かせない“ライフライン”であり“水は命”です。日本共産党県議団は、県が松江市や出雲市、大田市、江津市などに供給している水道水の値下げを要求。県企業局は「様々な工夫で料金の低減に取り組んでいく」と応じました。



議会報告宣伝

中小企業
農業

三菱農機が撤退— 雇用と経済支える施策を

三菱マヒンドラ農機（松江市）が農業用機械事業からの撤退を発表。①従業員の再就職支援、②事業者への事業継続支援、③税や社会保険料の納税猶予、④機械設備のリース料や家賃への補助を提案しています。

農業は県の基幹産業。生産者に再生産可能な所得・価格を保障すべきです。



中海再生へ県に申し入れ

県民に 安心と希望を届ける 政治を

県議会議員

尾村としなり



尾村としなり

「物価高で、生活は厳しくなるばかり。年金ではやっていけない」「給料が上がらず、先が見通せない」「消費税を下げしてほしい」——切実な声が寄せられています。大企業の利益を優先し、アメリカいいなりに軍事費を増やす。こんな政治でいいのでしょうか？日本共産党は、国の間違った政治に立ち向かい、くらし優先の県政を実現するため、全力で奮闘します。

日本共産党県議団

県議会議員
大國陽介



大國陽介

県政だより 2026年・春号

発行：日本共産党島根県議会議員団 住所：松江市殿町1番地 TEL：0852-22-5844
ご質問やご意見・ご要望などお待ちしております

医療
福祉

医療・介護の現場から悲鳴— 行き届く支援を

「ある日突然、地域の病院や介護事業所がなくなる」「人手不足も深刻。もう限界」など現場から悲鳴の声が——診療・介護報酬の抜本的な引き上げは急務。ケア労働者の処遇改善も待ったなしです。

医療、介護、保育、福祉の充実は、みんなの願い。社会保障予算を増やし、くらしに安心を。



介護事業所と懇談

教育
子育て

小学校教員の4割が 「休憩できず」—先生増やそう

県教委の調査で「全く休憩できなかった」と回答した教員が小学校で約4割にも上っていることが明らかに。

いじめや不登校が増えるなか、先生が子どもと向き合う時間を確保し、長時間・過密労働を解消するため、①教員の増員、②残業代の支給、③教職員の処遇改善、④全国学力テストの中止を求めています。



教員の増員を求めて
県教委に申し入れ